

理 由 書

都市計画道路3・5・7号腰越大船線は、市内主要拠点間の連絡道路や交通渋滞の解消といった役割を担っており、腰越から大船までを南北に縦断する延長約6,340mの幹線街路です。

本路線の沿道に位置する深沢地域国鉄跡地周辺地区に関しては、「鎌倉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」において、大規模工場跡地や旧国鉄清算事業団地跡地等を中心に、面的に一体整備を行うとともに、隣接する藤沢市村岡地区の新駅を中心としたまちづくりと連携を図りながら、都市基盤の整備を図ることとしています。また、「鎌倉市都市マスタープラン」において、深沢地域国鉄跡地周辺は、鎌倉駅周辺、大船駅周辺とともに3つの都市拠点の一つに位置づけられ、東海道本線新駅構想を視野に入れ、土地区画整理事業により、住宅と商業・業務機能、医療福祉機能等を導入することとされています。

今回、新駅設置と連携した新たな都市拠点の形成に向け、鎌倉市深沢地区と藤沢市村岡地区の両地区において、新たに土地区画整理事業等が都市計画に定められることにあわせ、交通の円滑な処理を図るとともに、歩行者や自転車の安全快適な通行を確保するため、本路線の区域の一部を変更するものです。